

おきだて

学校だより No.5

青森市立沖館小学校

令和4年7月21日発行

◆教育目標◆

やさしい子・かしこい子・たくましい子

全校児童数 541名

男子 257名

女子 284名

有意義な夏休みを

校長 田中 直樹

前期前半の教育課程が終わり、明日から子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。どの子も4月当初と比べると、心も体も随分成長したと感じています。きっと保護者の方も同じように感じているのではないのでしょうか。

ほぼ毎日のように各学級に入り子供たちの様子を観ていますが、どの学級でも静かに勉強に集中している姿が見られます。4月に入学してきたばかりの1年生も、落ち着いて学習に取り組んでいます。また、3年生以上の学級では、一人一台端末chromebookを使った授業に目を輝かせながら参加し、思いどおりタブレットを操作する姿が見られます。文部科学省が進めている「ギガスクール構想」が本校でも定着している表れです。

さて、夏休みや冬休みの長期間の休みは、日頃の学校生活からお子さまをご家庭へお返しする期間です。今日の全校集会でも子供たちに話しましたが、この長期の休みを利用して、今でしかできない何かに挑戦させてみてはいかがでしょうか。何もしないままあっという間に休みが終わってしまう過ごし方ではなく、自分が興味、関心をもっているものにとことん取り組ませてください。そのためには、お子さまがこの休みで何をやってみたいのか、日頃から興味、関心を抱いているものは何かを知っておくことが大事です。「夏の星座を覚えたい」とか、「長編マンガを描いてみたい」とか、「おばあちゃんの家に行ってお手伝いをしながら暮らしたい」など、とにかく「やりたいこと」を思いっきりやり尽くすという体験をさせてみてください。自分で計画を立て、そのことに没頭してやり遂げることは、子供の自主性を育み、達成感を味わわせることにつながります。大人の都合や考えで、「だめ」「また今度」とするのではなく、子供が発信している思いをキャッチし、それを実現するためにサポートしてあげることが、子供の成長には大切なことだと思います。この夏休みに、長期の休みでしかできない充実した体験をさせていただけたらと思います。

明日から始まる長い夏休みが終了した後、541人の子供たちとまた元気に会えることを楽しみにしております。「自分の命は自分で守る」を合い言葉に、思い出に残る充実した夏休みにしてくださいと思います。

☆☆ 8月学校行事予定 ☆☆

4日(木) 体育デー代替大会(近隣5校)
13日(土) 学校閉庁日(～15日月曜日)
19日(金) 出校日(開錠8:10)
未来ミーティング
23日(火) 夏季休業終了
24日(水) 全校朝会・午前授業(給食あり)

25日(木) 委員会活動・引落日①
29日(月) 読み聞かせ3年
31日(水) 県学習状況調査(5年)・ALT来校
引落日②

※ALTは外国語指導助手で主に5・6年の外国語の授業に参加しています。

◇体育館にねぶた囃子◇

7月14日(木)・15(金)の昼休み、企画委員会によるねぶた集会が行われました。PTAねぶた委員会の方々の協力を得て、実施することができました。体育館にねぶた囃子が響き渡りました。



主体的・対話的な学習の取組

6月15日(水)、齋藤先生が3年3組で算数の授業を公開し、研修をしました。また、7月14日(木)には、舘山先生が5年3組で社会科の授業を公開し、研修をしました。自分の考えを分かりやすく相手に伝えること、グループで考えをまとめることを通して、子供自身の考えを広め深める学習を全教職員で検証しています。



◇暖房設備の工事が始まります◇

小学校の暖房設備を改修するための工事が始まります。既にバックネット裏に工事関係者の事務所等が設置されております。また、7月26日(火)から8月5日(金)は、校舎前のスペースが工事の資材等で利用できなくなります。個人面談等で来校の際は、校門より児童玄関までは歩行者通路が確保されていますのでご利用ください。

個人面談等のため自転車で来校の際は、校庭の鉄棒付近へ駐輪してください。なお、この期間は、平日7:30～17:00まで校庭はクラブチーム等の活動場所として利用できません。ご理解とご協力をお願いします。

特別支援教育

本校では、子供たちの様々な苦手に配慮し、全教職員で子供一人一人の情報を共有しながら、わかる授業として「視覚刺激と聴覚刺激の視覚化」・「活動を明確にした焦点化」・「話し合い活動を通しての共有化」に取り組んでいます。また、特別支援教育支援員2名(蝦名さん、保坂さん)が各学級へ支援に入っています。子供たちの日々の成長を学級担任と情報交換を行いながら支援を続けています。